

自然に触れる機会を 大清水中山間集落協定が自然観察会を開催

蕨平地区と鍛木田地区の九件の農家で構成する中山間地域等直接支払制度の大清水中山間集落協定（栗原順一代表）は七月四日、鍛木田地内の休

耕田などで自然観察会を行いました。今回の自然観察会は、ホタルの生態や水辺などに住む生き物の観察を通して、自然の

大切さを学ぼうと行われました。講師に水野春雄さん（宿ノ入在住）を迎え、富田地区の小学生十五人が参加しました。子どもたちは、水野さんから指導を受けながら休耕田を



写真上…休耕田の水路を調べる子どもたち／下…餅つき体験などを行った交流会

調べ、ホトケドウジヨウやサワガニ、カエルなどを次々と見つけました。また、場所を移して今はあまり見られなくなったハッチョウトンボの生息を確認し、鍛木田地区の豊かな自然に触れました。

夜には、交流会が開かれ、水ギョウザ作りや餅つきを体験し、楽しいひとときを過ごしました。